

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育実習指導Ⅲ				科目コード	23Y505	担当者	織田 芳人、福井 昭史、本村 弥寿子、中村 浩美、荒木 正平、船勢 肇、野田 章子、山中 慶子			担当形態	オムニバス
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択必修			
授業形態	演習	履修条件	入学時から1年次後期末までの通算GPAが1.20未満の者は、原則として、本科目を履修することができない。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設（保育所以外）における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。
授業の方法	施設担当教員を中心として、学科教員がオムニバスで授業をおこなう。講義やグループ学習、実技、講演など授業内容に応じた形態となる。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	オリエンテーション	保育実習への意識を高める。	第9回	実習先オリエンテーション（事前訪問）	事前訪問で気づいたことをまとめる。
第2回	保育技術実践（絵本・紙芝居）	絵本・紙芝居の活用法についての予習と復習	第10回	実習先オリエンテーション（事前訪問）	第9回のまとめをもとに、重点課題を見直す。
第3回	保育技術実践（製作）	子どもが好きな制作物についての予習と復習	第11回	実習前 個別指導	実習中に取り組むべき課題を明確にする。
第4回	施設での生活について（Ⅰ）	施設で生活する子どもの実情と課題を考える。	第12回	実習後 個別指導	実習の内容等について振り返り、成果と課題をまとめる。
第5回	施設での生活について（Ⅱ）	施設で生活する子どもの実情と課題を考える。	第13回	意見交換会	1・2年生が施設ごとのグループに分かれて、実習内容についてのディスカッションを行う。
第6回	保育技術実践（運動）	運動遊びの種類、実践方法についての予習と復習	第14回	実習報告会	講演内容と感想をレポートにまとめる。
第7回	施設での生活について（Ⅲ）	第4・5回をもとにレポート（個別の指導計画案の作成含む）にまとめる。	第15回	卒業生講演会	講演内容と感想をレポートにまとめる。
第8回	実習事前指導	実習での注意事項等について理解を深める。			事前・事後学修時間（分／授業1回） 45分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	教育・保育実習の手引き、これからの時代の保育者養成・実習ガイド	受講生へのメッセージ	保育実習指導Ⅰ（施設）で学んだことに併せて、施設で生活する子どもや利用者一人ひとりに応じた支援の内容や方法についての事前学習が必要です。施設の実情や子ども・利用者の実態を理解してしっかりと実習課題に反映してください。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

